

## 小学校第 6 学年 外国語活動指導案

### 1 単元名 When is your birthday? (友だちの誕生日を調べよう) (*Hi, friends!* 2 pp.6-9)

### 2 単元について

○ この単元では、日本や世界の行事の紹介と関連させながら、月（暦）の名前や序数の英語表現に慣れ親しませ、子供たちが友達と互いに誕生日を尋ねたり答えたりすることによって、コミュニケーションを図る楽しさを体験することをねらいとしている。子供たちにとって、身近な誕生日を扱うことで「英語で自分の誕生日を伝えてみたい」「友達の誕生日を知りたい」という興味を引き出し、学級全体の情報を知ることができたり、言葉の役割や必要性を実感させたりしながら、仲間意識を持たせることができる単元である。

○ 本学級の児童は、第 5 学年において、外国語活動の中で“What ( ) do you like?” “How many ~?”等の英語表現に触れている。また、授業には毎時間ALTも加わっているので、“How are you?” “I’m ( ).”という簡単な挨拶を交わすことができる。

児童に対する外国語活動に関するアンケートの結果は次のとおりである。

【実態調査結果】小数第 1 位を四捨五入 6 月 1 日実施

①「外国語活動」の授業は、楽しいですか。

とても楽しい 56% 楽しい 36% あまり楽しくない 8% 楽しくない 0%

②先生や友達の英語を聞いて、だいたいの内容がわかりますか。

分かる 33% 少し分かる 46% あまり分からない 21% 分からない 0%

③簡単な英語を使って、言いたいことを伝えていきますか。

伝えている 26% 少し伝えている 28% あまり伝えてない 38% 伝えてない 8%

④自分の良さやがんばりに気付き、自信が付いてきましたか。

付いてきた 31% 少し付いてきた 28% あまり付いてきてない 33% 付いてない 8%

⑤外国語活動を通して、友達や先生のことわかり、もっと仲良くなろうとしていますか。

している 67% 少ししている 18% あまりしていない 15% していない 0%

アンケートの①の結果から 92%の児童が外国語活動の授業を「とても楽しい」「楽しい」と感じている。一方で、②や③の結果から、「聞くこと」については 21%、「話すこと」については 46%の児童が十分ではないと感じている。このことは、④の「自分に自信が付いてきた」「少し付いてきた」を合わせた児童が 59%にとどまった結果につながったと考えられる。⑤の結果からは、85%の児童が仲間意識を大切にしながらコミュニケーションを図り、外国語活動に参加していることが分かった。

○ 指導に当たっては、「タスク」達成に必要な英語表現を、スモールステップで慣れ親しませ、単元終末のコミュニケーション活動に生かせる「単元を貫くタスク」を外国語活動教材“Hi, friends!”に取り入れた課題解決型の単元を構想した。「タスク」とは、慣れ親しんだ英語表現を活用させる課題を指し、教師側からのイメージとしては、児童が英語表現に慣れ親しむ必要感やコミュニケーション活動への目的意識を高めるための「仕掛け」と捉えている。「単元を貫くタスク」は、次の 3 つを満たすものと考えている。

①英語での情報の受け渡しがあり、英語を口にする必要感、つまり双方向性のある音声面でのコミュニケーション活動を含んでいること。

②関わりを大切にし、目的意識の共有化や英語表現の確認をしながら共同で取り組むことができる活

動であること。

- ③児童の知的好奇心を刺激したり、学級づくりや実際のコミュニケーション場面につなげたりする活動であること。

また、単元全体を通して、教師によるクラスルームイングリッシュを使う頻度を高め、子供たちに英語で何を言っているのかを想像させ、間違いを気にせず想像したことを自由に声に出させながら授業を進めるようにしていく。さらに、児童の意欲を継続させるために、楽器を使ったテンポよい活動で、音をよく聞くことの大切さやリズムにのって発話することの楽しさを味わわせるようにしたり、デジタル教材やピクチャーカードを使い、音声と絵や文字を視覚的に結び付けたりするような工夫を行っていきたい。

### 3 単元の目標

英語表現を使って、誕生日を尋ねたり答えたりするコミュニケーション活動を通して、月の名前や序数の英語表現に慣れ親しみ、友達に進んで関わろうとする。

### 4 単元の評価規準

- 誕生日を積極的に尋ねたり答えたりしながら、友達に進んで関わろうとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- 英語での月の言い方や、誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。

【外国語への慣れ親しみ】

- 世界と日本の祭りや行事に興味を持ち、時期や季節の違いに気付いている。

【言語や文化に関する気付き】

### 5 指導と評価の計画（全4時間）

時	目 標	主な児童の活動	主な英語表現	評価規準（評価方法）	評価の観点		
					コ	慣	気
1	○月の名前の英語表現を知る。 ○日本と世界の行事の違いに気付く。	1 英語の歌を歌う。 2 「ミッシングゲーム」をする。 3 「世界の行事と月を線で結ぼう」を聞く。 4 「陣取りゲーム」をする。	January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December	◆月の名前の英語表現を知ろうとしている。 （行動観察、発言、振り返り） ◆日本と世界の行事の違いに気付いている。 （行動観察、発言、振り返り）			○
2	○自分の誕生日の英語表現に慣れ親しむ。	1 英語の歌を歌う。 2 日にち（序数）について知る。 3 「ステレオゲーム」をする。 4 「神経衰弱」をする。	My birthday is ～. 1st 2nd 3rd...	◆自分の誕生日の英語表現を聞いたり声に出したりしている。 （行動観察、発言、振り返り）		○	

3	○友達の誕生日を尋ねる英語表現に慣れ親しむ。	1 英語の歌を歌う。 2 「かるた」をする。 3 “Say 21st”をする。 4 絵本の読み聞かせを聞く。 ----- When is your birthday?	◆友達の誕生日を尋ねる英語表現を聞いた声に出したりしている。(行動観察, 発言, 振り返り)		○	
4 (本時)	○誕生日を尋ねたり答えたりしながら、友達と進んで関わろうとする。	1 英語の歌を歌う。 2 “Keyword game”をする。 3 「Birthday Card を渡そう」を行う。 4 学級の“Birthday Calendar”を作る。 ----- When is your birthday? My birthday is ~.	◆誕生日を尋ねたり答えたりする英語表現を使いながら、友達と進んで関わろうとしている。(行動観察, 発言, 振り返り)	○		

### 6 本時の目標

- ・誕生日を尋ねたり答えたりしながら、友達と進んで関わろうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

### 7 指導の視点

- ・本時においては、単元のゴール「学級の“Birthday Calendar”」を作るためのインタビュー活動を設定し、前時までに慣れ親しんだ英語表現を使って、友達の誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を伝えたりすることができたか。
- ・友達と楽しく関わろうとする意欲を持ち、進んでコミュニケーションを図ることができたか。

### 8 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点 ◆…評価(方法)と <u>主な英語表現</u>
出 合 う	1 挨拶の後、Mingle活動をしながら、既習表現の質問をし合う。 ※Mingleとは「①混じる、②歓談する」という意味で、ここでは②を指す。  2 本時のめあてを知る。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">英語で、たん生日を聞いたたり答えたりしよう。</div>	○挨拶を交わし、児童を英語の世界へと誘うために既習の表現を使った歌や質問をする。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">Hello. How are you? I'm ~.</div>  ○本時のめあてを提示する。
／ 楽 し む	3 “Twelve Months”を歌う。  4 “Keyword game”をしながら前時を振り返る。	○はっきりと発話させ、声のウォームアップを図る。  ○前時までに学んだ月の名前や序数の英語表現の確認を“Keyword game”を通して行う。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December, 1st, 2nd, 3rd, 4th, ...</div>

関わり合う	5 「自分のクラスは、何月生まれの友達が多いのか」を予想する。	○何月生まれの児童が多いかを予想させ、ワークシートに書くよう指示する。
	6 「Birthday Cardを渡そう」を行う。 【「Birthday Card を渡そう」の進め方】 ①配られたカードに自分の誕生日と似顔絵を書き込ませ、教師が回収した後、バラバラにして児童に再度配付する。 ②“When is your birthday?”と友達に尋ねながら、配られたカードに書かれた誕生日の友達を探す。 ③カードに書かれた誕生日の友達が見つかったら、自分の名前を書いて渡し、自分ももらったカードは黒板に貼る。 ④終わった児童は、まだ活動をしている児童のやり取りを聞いたり、困っている児童の応援をしたりする。	○“When is your birthday?”のやり取りを代表児童とデモンストレーションを行う。カード渡しが始まったら、積極的に英語表現を使っている児童を称賛する。 When is your birthday? My birthday is ～. ◆誕生日を尋ねたり答えたりする英語表現を使いながら、友達と進んで関わろうとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 (行動観察, 発言, 振り返りカードの点検) △→英語表現が分からずに困ったときには, “Help card”を使っていいように, 前もって伝えておく。“Help card”を示した児童には, ヒントを与えたり, 友達と一緒に言わせたりして, 安心感を与えられるようにし, 相手に関わろうとしている態度を評価し, 関わりへの自信を高めるようにする。
振り返る	7 “Birthday Calendar”を作る。	○予想した「何月生まれが多いか」が当たった児童の人数を確認する。 ○「学級の“Birthday Calendar”」が完成した喜びを共有させ“Happy Birthday”を歌うよう指示する。
	8 振り返りをする。 9 挨拶をする。	○気付いたことの振り返りを行い, 数人の児童に発表させる。 ○本時の児童のがんばりを褒め, 終わりの挨拶をする。 You did a good job. Thank you very much. See you.